



ホップのまち遠野で

3年後の成長を

高橋 勇大

たかはし ゆうた



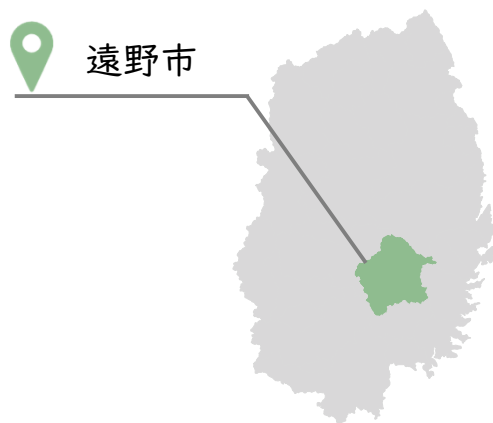
遠野市

任期 令和6年10月～

活動内容 ホップ栽培

出身地 埼玉県

転出元 埼玉県さいたま市



REPORT

地域の支えを力に技術の習得と就農を目指す

1 ビール好きがきっかけ

令和6年10月に地域おこし協力隊として遠野市に着任した高橋勇大さんは、ビール好きだったこともあり、SNSで偶然見つけた遠野市のホップに興味を持ち、地域おこし協力隊の存在を知りました。

ホップ栽培は先輩農家や市職員からのアドバイスを受けて技術を積み重ね、2年目となる今年は、自ら考えて作業に取り組むことにも挑戦しています。



収穫トラックの上で収穫作業

2 3年後を見据えた準備を一つひとつ

地域おこし協力隊は3年の任期。また、ホップは多年草植物で、株が十分な大きさに育つまで3年を要します。

「今は地域の方々に支えてもらってばかりなので、しっかり技術を身に付けて恩返してできるように、前向きに活動していきたい。」と高橋さんは話します。

高橋さんは、3年後を見据え、栽培技術の習得に加え、就農に向けて具体的な農地や住居の確保、機械や資材などの調達に向けて一つひとつ準備や検討を進めています。



ホップ収穫後の調製作業